中期経営計画

中期経営計画「活力創造プラン」

当行は創立90周年の平成36年までの10年間の経営ビジョンを「活力創造銀行」として、営業地域および当行の活力を創造する銀行をめざしています。本ビジョンを実現させていくため、平成26年4月に平成26年度から28年度までの3年間を計画期間とする中期経営計画「活力創造プラン」をスタートさせました。本経営計画では「地域の活性化」など5つの重点戦略を掲げ、「トップライン収益の増強」「効率的な経営」「強固で自己実現可能な組織づくり」に強力に取組んでいます。

経営ビジョン「活力創造銀行」

■創立90周年までの10年間の経営ビジョンを「活力創造銀行」として営業地域および当行の活力を創造する銀行をめざす。

■コアエリアの地域力創造　※コアエリア＝地元
- 既存エリアでのリレーションを深化
- 重点戦略エリアでの稠密な拠点展開の更なる推進

■規模の拡大等を通じた収益機会の創出
■「夢」と「誇り」に溢れた企業風土の醸成

創立90周年（平成36年）

中期経営計画
「活力創造プラン」
平成26年4月～平成29年3月

創立80周年（平成26年）

経済・金融環境

■少子高齢化、人口減少　■奈良県内の事業所減少
■金利の低下　■他行の越境が激化　等

収益環境

■低金利による資金利益の減少
■役務取引等利益は横ばい　等

経営理念

①健全かつ効率的な経営に努めます。
②優れた総合金融サービスを提供します。
③地域の発展に尽くします。
④信頼され親しまれる、魅力的な銀行をめざします。

南都ブランド力向上による ステークホルダーとの好循環

活力創造プラン

1. 名称・期間

■中期経営計画「活力創造プラン」
■平成26年4月～平成29年3月（3年間）

2. 基本的な考え

■カスタマーセントリック（顧客中心主義）の実践と効果的な資金運用により、トップライン収益の増強を図る。
■経営資源の適正投下により効率的な経営に努める。
■人材育成と活性化を通じ自己実現を可能とする組織づくりに取組む。

3. 計数目標 〈平成28年度〉

■当期純利益　80億円以上
■貸出金残高　3兆2,500億円以上
■預金残高　5兆円以上

4. 重点戦略

Ⅰ. 地域の活性化　Ⅱ. 収益基盤の確立
Ⅲ. 人材・組織の強化　Ⅳ. 業務の生産性向上
Ⅴ. 内部管理態勢の強化

＜重点戦略＞

Ⅰ. 地域の活性化

◇産業創造・育成、産官学金連携等を通じて地域の活性化を図る。
◇コンサルティング機能を発揮して経営改善・事業再生に取組む。

Ⅱ. 収益基盤の確立

◇既存エリアにおいては、お客さまとのリレーションを深化させることにより、確固たる収益基盤を拡充する。
◇大阪府等の重点戦略地域においては拠点の連続性を基本に経営資源を積極的に投入することにより、コアエリアの拡大を図る。
◇個々のライフステージに応じた商品・サービスを最適なタイミング・チャネルで提供していく。
◇市場運用力の強化

Ⅲ. 人材・組織の強化

◇営業力を強化していくため、人材育成の仕組みを抜本的に見直す。
◇適材適所の人員活用と適正な人事管理により、活力のある組織を醸成する。
◇総合金融サービスの提供力を高めるため、グループ力の強化を図る。

Ⅳ. 業務の生産性向上

◇地域のマーケット特性に応じた営業態勢を構築することにより、生産性の向上を図る。
◇業務プロセスの見直しにより、業務の効率化と営業力の強化を図る。

Ⅴ. 内部管理態勢の強化

◇ステークホルダーからの一層の信頼を得るため、コンプライアンス態勢を強化する。
◇リスク・リターンを考慮した各種リスク管理の高度化・充実を図る。